

「Shuibu- R - I」

MRI は、人間の内部情報を画像化する医学用のマシンである。

私たちが患者として MRI 検査を受ける場合、まず体を固定され、次に頭を固定される。

そして、ヘッドフォンをあてがわれる。このヘッドフォンから、検査の間の数十分、気が狂うような爆音が奏でられるのだ。

それは工事現場の雑音、不快な電子音、異世界からの叫び.....それらをすべてミックスしたような、最低のノイズミュージック。

要するに、とにかく、五月蠅い。

五月蠅いといえば、渋谷も四六時中、五月蠅い。

20 人近くが一つ屋根の下で暮らしているのだから、おしゃべり、罵声、笑い声、食器を割る音洗う音、アエギ声からイビキまで、すべてが筒抜け、入り乱れ、日々、新しい雑音が、自然に発生してるのだ。

ましてやパーティーともなれば、100 人近くが押し寄せて、トークイベント、DJ プレイ、喧々諤々の議論までもが巻き起こり、そのヴォリュームは、さらにさらに上がってゆく。

そんな渋谷パーティーのインダストリアル・ノイズを、半強制的に聞かせるのが、

「Shibu-R-I」である。

やがてあなたは診断されて、検査結果を宣告されるだろう。

ちなみに、MRI とは、核磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging)という意味である。

渋谷のマグネティックな喧騒に、アレルギー反応を起こして離反するか、惹きつけられて共鳴するかは、ひとえにあなた次第である。

中島晴矢